



クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和6年10月 第182号

令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業:(一社)にちなんスポーツクラブ



キックオフ!!



3人で攻めます!!



ピンチ!!

令和6年9月11日(水)、(一社)にちなんスポーツクラブ主催の「令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ*」(県スポーツ協会補助事業)で「放課後運動遊びクラブ」で「フットサル」を実施しました。

※目的 年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進する。

【指導者】 宮本 計道さん・福田 洋一さん

今日は局地的に大雨と雷が鳴る天候でしたが、子どもたちはフットサルを楽しみに来てくれました。

最初に子どもVS大人で試合を行い、次は子どもと大人の混成チームを作り、何度かチーム替えをして時間いっぱい楽しみました。

試合は、最初にジャンケンでどちらが先にボールを蹴るか決め、ボールをドリブルやパスしながら、相手ゴールを目指しました。空いているスペースを見つけてパスをしたり、味方がパスを出しやすい場所に移動したりして、大人相手に互角の戦いを繰り広げていました。

こまめな水分補給をしながら4試合行いましたが、子どもたちの体力はまだまだ有り余っています。(羨ましい限りです。)疲れを知らない子どもたちの体力には驚かされます。



1対1です



やった! 抜けた!



シュート!!

連絡先
(一社)にちなんスポーツクラブ事務局
足羽 覚
TEL:0859-83-1007
E-mail:nichinan.sc@gmail.com

令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業：倉吉サンリンク・スポーツ



ボッチャ体験



令和6年9月21日(土)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業：みんなdeユニスポ^{※1}」(県スポーツ協会補助事業)で「ボッチャ^{※2}」を体験していただきました。

※1 目的 年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進する。

※2 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競います。

今回は、倉吉西中学校女子バドミントン部^{※3}の生徒に「ボッチャ」を体験していただきました。1試合6エンドを2試合体験していただき、最初はどんなスポーツをするんだろう?と不安そうだった生徒も、ルールや戦術が理解できると、相手チームよりジャックボールに近づけたり、相手チームの球にぶつかけたりとすぐにコツを掴み、思い通りに投球できた時は思わずガッツポーズが出て、楽しんでプレーしてくれました。

エンドが変わる度に「今、何対何?」と確認し、「よし逆転できる!」とチームで声掛けし、接戦を制すると大喜びでした。皆初めての体験でしたが、「ボッチャ」大好評でした。

※3 今年度から、当クラブの杉谷さんが倉吉西中学校バドミントン部の外部指導者として関わられています。

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

鳥取県障がい者スポーツ推進事業：倉吉サンリンク・スポーツ



ボッチャの対戦の様子

令和6年9月7日(土)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「鳥取型障がい者スポーツ推進事業※1」(県障がい者スポーツ協会委託事業)で「ボッチャ※2」と「ラダーゲッター※3」を県立倉吉養護学校体育館で開催しました。

※1 目的:特別養護学校の学校体育施設を拠点として、特別支援学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。

※2 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競います。

※3 ラダーゲッターは、両端にボールがついたヒモを、ラダー(はしご)に向かって投げるゲームです。ボールがラダーに引っ掛かるとポイントになり、そのポイントを競います。21点先取したプレイヤーが勝ち。

【参加者】 17名(在校生・先生・地域住民)

【指導者】 杉谷哲治さん、桑名優子さん、平井明朗さん

参加者を4人ずつの4グループに分け、ボッチャは総当たり戦で、1試合4エンドで対戦しました。無造作に投げているのに、距離感・方向性を合わせてくる人も居て、感嘆の声が上がりました。

ラダーゲッターは、2グループで対戦するのですが、1グループが1つのラダー(はしご)を使いグループ全員が3回投げた合計点で勝敗を決めました。中には3本(3点・2点・1点)のはしご全部にハング(引っ掛かる)する達人も居てとても盛り上がりました。

どちらのスポーツも誰でも気軽にできるので、一度体験してみてください。



ラダーゲッターの対戦の様子

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

学校部活動指導：倉吉サンリンク・スポーツ



シングルス



ダブルス



スコア付けの練習

令和6年9月21日(土)、倉吉サンリンク・スポーツの杉谷哲治さんが指導する、倉吉市立西中学校バドミントン女子の部活動を視察しました。

今年度から倉吉市立西中学校の外部指導者として、毎週土曜日(指導できる日は平日の午後も)の午前中指導されています。

部員は皆初心者です。

今日は、大会が近いため、シングルスとダブルスの試合形式で練習しました。

生徒たちは、サーブ順やサーブする場所等分からなくなる場面もありましたが、得点数の奇数・偶数で右側か左側かで判断することを教わりました。

大会に出るには、スコア付けも必須なため、スコアの付け方も勉強しました。

学校部活動には顧問の先生は居られますが、専門種目の指導ではない場合が多く、どう指導したら良いのか、どういうスケジュールで進めたらいいのか苦慮されている先生が多いのが現状です。

競技力の向上を目指す生徒は、クラブチームで活動する割合が多く、学校部活動に参加する生徒のほとんどは初心者であることが多いため、生徒の指導は専門の知識を持った指導者があたる必要があります。

顧問の小林先生も、杉谷さんに指導いただき様々な点で負担が減りとても助かっているとのこと、外部指導者のメリットは大きいことを実感しました。

しかし、いくら土曜日(週末)が地域移行になったとしても、完全に先生が出て来られないかといえば、責任感から出て来られる先生や、大会引率も外部指導者だけに任せるのは無責任だと思われる先生も居られ、地域移行になったとしても関わる先生は多いと思います。これで完全な地域移行になるのか疑問です。

外部指導者への報酬についても、相応な額を出すべきだと思いますし、学校や大会会場までの送迎、引率、傷害等の対応等問題は山積みです。

生徒たちはこれから色々指導してもらい、バドミントンを通じて得るものがたくさんあると思います。

先生の働き方改革で子どもたちが犠牲にならないように、子どもたちが楽しくスポーツを続けられる環境を、県・市町村、学校、受け皿となる団体と協働していけるとよいですね。



ダブルス

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

彼岸花ウォークラリーin南部町:スポnetなんぶ



法勝寺温泉別館チェックポイント



長田神社チェックポイント



客神社(ブロッコリー神社)チェックポイント

令和6年9月23日(祝・月)、スポnetなんぶ・南部町観光協会主催の「彼岸花ウォークラリーin南部町」が実施され、町内外から62名の方に参加いただき、法勝寺まごころ市を発着とする5kmのコースで、地図を見ながら各チェックポイントを探しスタンプを集めながら歩きました。

チェックポイントは全部で4カ所(長田神社/客(ブロッコリー)神社/グリコ裏/法勝寺温泉別館)で2時間以内のゴールを目指します。チェックポイント2カ所に飴と梨のエイドステーションも設置されていました。(有難い)



牛舎から顔を出す牛さん



少し寂しい彼岸花



法勝寺川土手沿いエイドステーション
&チェックポイント

客(ブロッコリー)神社を過ぎると、牛舎があり柵の間から牛さんが顔を出していました。

法勝寺川土手には彼岸花が咲き誇っている予定でしたが、所々に寂しそうに咲いている程度でした。(残念)

梨のエイドステーションでは、“なつひめ”をいただきました。(甘くて美味しかったです！)



僅かに咲く彼岸花をパシャリ



豚汁・おにぎり・スイーツをいただく



町外から参加のなかよし3人組

ゴールすると、完歩賞として、古代米おにぎり・豚汁・スイーツが手渡され、美味しくいただきました。

ラッキープレゼントも、完歩者の中から抽選で南部町の特産品のプレゼントがあり、当選した人は本当にラッキーです。参加した人からは、「今までウォーキングイベントにたくさん参加しましたが、今回のように地図を片手に自分たちでコースを自由に回るといった大会は初めてで斬新で楽しかったです。」と好評でした。

連絡先

NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブ(スポnetなんぶ)事務局

板 真悟

TEL:0589-66-5400

E-mail: shiawase01@suponetnanbu.com

ポイント制フロアグラウンド・ゴルフ交流会：倉吉サンリンク・スポーツ



ティーショット

令和6年9月24日(火)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「ポイント制フロアグラウンド・ゴルフ交流会」(毎月第4火曜日)を、旧上小鴨小学校※(倉吉市)体育館で開催しました。

※令和6年3月31日閉校

今回の「ポイント制フロアグラウンド・ゴルフ交流会」から、閉校になった上小鴨小学校の体育館を使用して行うことになりました。地域の方の愛着がある体育館(地域の貴重な財産)を利用することで、より地域密着型の活動が可能になるのではと思います。



トマリを狙う

体育館は若干狭めですが、懐かしさを感じながら前・後半16ホールずつ回り、個人戦と団体戦で勝敗を決めました。

ホールインワンも連発で、後半だけで3度もホールインワンを出す達人も居られました。フロアグラウンド・ゴルフは体力的に少し不安がある方でも安心してプレーできるので、女性の方が上位になれる可能性が大きいです。(今日も3位以内に女性が2名)

プレー終了後は、参加者全員で後片づけです。(皆でクラブを支えています。)
初めての方もウェルカムです。参加お待ちしております。



集計は体育館の外で



片づけは皆で



2位

1位

3位

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局 杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

岸本小学校4年生「モルック交流会」:(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ



言う事一緒やること一緒
言う事一緒やること逆



ジャンケン足し算



瀧田さんからスコアカードの記入方法等の説明

令和6年9月28日(土)、(一社)ほうきスマイリースポーツクラブは、岸本小学校(伯耆町)4年生の親子会(4年生役員からの依頼)で約80名の親子を対象に「モルック交流会」で指導を行いました。

【指導者】 瀧田祐吉さん(アシスタントマネジャー)

最初に、ACPを取り入れた準備運動を行い、瀧田さんから諸注意やルール説明を聞きました。



スキットルを並べます



男の子が投球します



投球した人がスキットルを起こします

コートは10コート設置し、予め10グループに分けられた参加者は、決められたコートに分かれ50点目指して対戦しました。(試合は2回(グループを変えて)行いました。)試合は各々のコートでマニュアルを見ながら、皆で協力して進めました。最初はルールや得点の取り方に戸惑っていましたが、すぐに理解しモルックの楽しさにどのコートも大盛り上がりでした。



スコアをつけます



お母さんが投球します



合言葉に素早く反応する

「モルック」の交流会の後は、皆で大きな円になり、「聴覚調整感覚運動」で大いに盛り上がりました。

【参加者の感想】

「初めて体験しましたが、頭を使いながら進めていくので、徐々にはまりました。とても楽しかったです。」

「瀧田さんの子どもへの接し方はとても上手で見習いたいです。」

誰でも気軽に楽しめるモルックを、多くの方に体験していただく良い機会となりました。12月14日(土)に当クラブが主催する「モルック交流大会」への参加、お待ちしております!!(参加費無料です。)

連絡先 (一社)ほうきスマイリースポーツクラブ事務局
西村 香緒里
TEL:0859-68-3775 E-mail:h.smiley.sports@gmail.com

令和6年度鳥取県総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業研修会



研修会の様子(県立倉吉体育文化会館)

令和6年9月4日(水)、「令和6年度鳥取県総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業研修会*」を県立倉吉体育文化会館中研修室で開催しました。

目的:総合型地域スポーツクラブが抱える諸問題を解消するとともに、指導者の育成、クラブ運営の健全化と持続可能な運営を目指す。

【内容】

① 講義

演題:「総合型地域スポーツクラブの質的充実や、行政との連携によるスポーツを通じた地域課題の解決に向けた取組について」

講師:神戸親和大学 教育学部 スポーツ教育学科
教授 松田 雅彦 氏

② ワークショップ

テーマ:「総合型地域スポーツクラブの可能性(スポーツを通じた地域課題の解決・まちづくり)について」



グループワークの様子

午前の部では、「クラブとは何か！」本来のクラブづくりの意味を再考いただき、部活動の地域移行の話を中心に今後のまちづくりについて講演いただき、その中で行政との連携にどうつなげていくかについてお話しいただきました。

学校の管理下ではなくなる意味は？具体的にどう変わるのか？生徒のニーズは？学校と運営団体・実施主体の関係は？等々理解が深まりました。

学校を卒業しても部活動は卒業しないしくみをつくろう！に納得でした。

クラブづくりは、「ひととひと」「ひとと社会」をスポーツという文化でつなげていく、地域づくりそのもの！持続可能なスポーツシステムの構築を目指して頑張りましょう！！

午後の部では、参加者を2グループに分け、部活動の地域連携・地域移行をどう進めていくか、行政とのつながりの必要性や今後のまちづくりに関してクラブがどう関わればいいのか、課題を付箋に書きだし、方眼紙にカテゴリー毎に仕分けし、重要度と緊急度に合わせて行程表を作成しました。

グループで話し合った内容は、お互いのグループで共有し、色々質問等をして理解を深めました。

今すぐ取り掛かることは？いつまでにその目標を達成するの？書き出すことで可視化することができました。

研修会に多くの方に参加いただきありがとうございました。

【参加者】

所 属	氏 名	所 属	氏 名
倉吉サンリンク・スポーツ	杉 谷 哲 治	NPO 法人南部町総合型地域スポーツクラブ	板 真 悟
智頭町教育委員会	大 藤 翔 太	倉吉ユナイテッド	下屋敷恒太郎
けたかスポーツクラブ	細 谷 慶 介	鳥取市スポーツ指導者バンク登録者	砂 原 翔
(一社)にちなんスポーツクラブ	足 羽 覚	鳥取市スポーツ指導者バンク登録者	金 重 麻 美
(一社)にちなんスポーツクラブ	青 戸 武	鳥取市スポーツ指導者バンク登録者	中 村 茂 樹
NPO法人やまつみスポーツクラブ	吉 村 順 子	鳥取市スポーツ指導者バンク登録者	厨 子 洋 一
(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ	後 藤 弥	鳥取県教育委員会事務局体育保健課	山 本 雅 丈
(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ	西村 香緒里	鳥取県スポーツ振興局スポーツ課	中 西 真 穂